

行動型

事故・災害を体験できる!?

ヴァーチャルリアリティ

『建設安全VR』

ヴァーチャルコンテンツ誕生!!

初めての
VR導入に最適

6ヶ月レンタル

※パソコンおよびヘッドマウント
ディスプレイは付属してありません定価 **20** 万円～このVRソフトを起動したら、もうそこは工事現場 ---
あなたは事故を回避して安全に作業を完了できるか!?

Contents Lineup

※すべてのコンテンツにおいてHCT社製VIVEとSteamVRのインストール必須

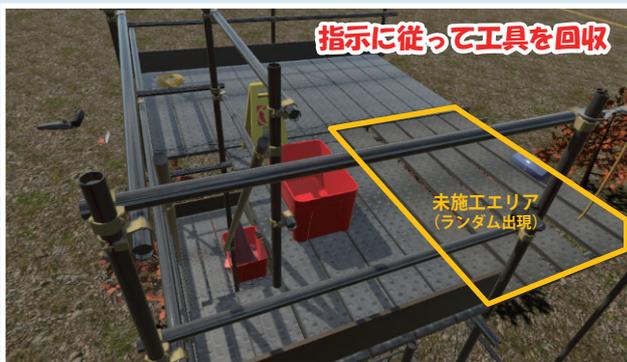
01

【足場(ステージ)からの墜落】編

未施工の床を見抜いて墜落を阻止!!

危険
予知

必要スペース
4m×3m



危険予知

危険エリアに
立ち入り墜落

不合格

ステージ足場内からスタート、最上部へ登り3箇所に置かれたアイテムを回収。
ただし、危険と思われる場所には立入禁止看板を設置する。
2つのアイテムを回収し、危険箇所に立入禁止看板を設置すればクリア!
もし間違えて危険エリアに侵入すると地上10mから墜落!

02

【手持式ディスクグラインダー使用の心得】編

グラインダーの反発を含む3つの災害を体験!

事故
体験

必要スペース
3m×2m

コントローラーをグラインダーに見立て、研磨作業を行う。
火花飛散によりウレタンから火災が発生、別のシーンでは
チップソーを装着し切断作業で反発して顔面に直撃!
踏み台から身を乗り出して作業すると作業台もろとも転倒!
グラインダー作業で発生しやすい事故・災害を3つ体験
して安全使用の心得を学ぶ。(当コンテンツは災害回避)

災害①



災害②



災害③



共同
開発

想いをかたちに 未来へつなぐ



TAKENAKA

× ACT ENG. アクトエンジニアリング

竹中の本採用を機に 大幅リニューアル!

数々の体感教育用VRコンテンツを制作納品させて頂いた竹中工務店と共同で、グラインダーVRを大幅にリニューアル!

グラインダーで起こしやすい3つ災害を体験できます。
また、シーンもよりリアルになり、臨場感が増しました。
左手に持つコントローラーを添えると補助ハンドルを握ることができるというアリティを追求した仕掛けも、
体験者の皆様が次に現場で作業するときこの体験を思い出して欲しいからこそこのこだわりです。

Contents Lineup

※すべてのコンテンツにおいて HCT 社製 VIVE と SteamVR のインストール必須

03 【外部足場最上部からの墜落】編

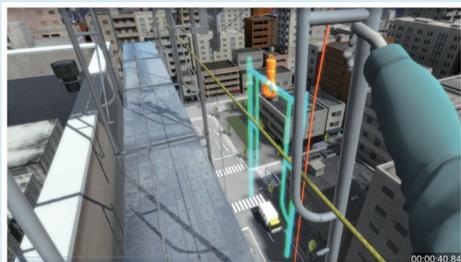
恐怖体験! 外部足場最上段からの墜落

事故
体験

安全
教育

必要スペース
4m×2.5m

地上 40m (24 段) の高さまで組みあがった枠組足場の解体作業を体験。親綱ロープだけの足場最上部でホイストクレーンへの玉掛けを失敗すると建て枠もろとも足場から墜落する。恐怖体験の後は、先行手摺(中棧・幅木)が設置された安心感のある足場の安全性を体験。



解体用ホイストに枠組を預けるが...



失敗すると
40mから墜落!

親綱ロープしかない
足場最上段で作業...



事故体験の後は先行手摺枠の安全性を体感



共
同
開
発

 全国仮設安全事業協同組合 ×  アクトエンジニアリング

建設職人基本法“見える化”大会～国民の関心と理解を深める取組み～
(日本建設職人社会振興連盟 全国仮設安全事業協同組合 主催)

国土交通省・経済産業省・総務省・厚生労働省・農林水産省・内閣府復興庁など各省庁が後援し、各政党代表国会議員と各省庁の関係者が多数出席した建設職人基本法“見える化”大会で、VRを披露。
東京田町建築会館 (平成30年2月14日)



04 【鉄骨工事中の墜落】編

鉄骨作業中の近道行為で墜落!!

事故
体験

必要スペース
3.5m×2.5m

鉄骨建て方中の現場で、大梁上を歩行し、安全帯を使わずに柱をまたいで向こう側のブラケットに渡る近道行動による危険行為を体験。実際の現場では絶対に行ってはいけない危険行為をVR上で体験して教訓とします。

吊り足場へ移動



大梁上を移動



安全帯未使用で近道行為



墜落!!

Contents Rental

期間・定価

※HCT 社製 VIVE および推奨パソコンは含まれません

PC 1台 / 1コンテンツにつき

	6ヶ月契約	+1ヶ月ごと更新	12ヶ月契約
足場(ステージ)からの墜落	20万円	3万円/月	30万円
手持式ディスクグラインダー 使用の心得			
外部足場最上部からの墜落			
鉄骨工事中の墜落			

※最低6ヶ月からの契約になります

よくある質問

Q & A

- Q1** 「建設安全VR」の導入にはどのくらいの費用が必要ですか？
- A1** 「建設安全VR」のソフトを導入するには HTC 社製 VIVE 機器と、対応 PC が必要です。それらの機器がすでに用意されている場合は 6ヶ月 20万円からご利用可能です。
- Q2** HTC 社製の VIVE 機器と対応 PC の値段は？
- A2** VIVE 機器のセットと対応 PC はグレードによって価格に設定があります。詳細は <https://www.vive.com/jp/> でご確認ください。
- Q3** 誰でも VR はプレイ可能ですか？
- A3** 13歳未満の子供の立体視の発達に影響があると言われてます。「建設安全VR」には事故災害を体感する映像が流れますので、恐怖を感じる体験が苦手な方、心臓の弱い方、妊娠中の方などは特に注意してください。
- Q4** メガネはかけたままゴーグルを装着できますか？
- A4** 可能ですが、メガネの形状や大きさによっては装着できない場合があります。
- Q5** PC はネットワークに接続する必要がありますか？
- A5** 「建設安全VR」はプレイのインターネット接続は不要です。(VIVE 設定時は必要になる場合があります)
- Q6** プレイ中の画面はディスプレイ等に写せますか？
- A6** PC のサブ端子にディスプレイを接続すれば表示可能ですが、PC に負担がかかりますので推奨されません。
- Q7** 同時に複数人でプレイできないのですか？
- A7** 「建設安全VR」は同時最大 1名でのプレイとなります。多人数向けの VR システムについては別途コンテンツをご用意しておりますのでお問い合わせください。
- Q8** VIVE 機器は PC とワイヤレス接続できないのですか？
- A8** 一部無線の VIVE 機器が販売されておりますが「建設安全VR」対応機種はご確認ください。

VR運用担当者になるための!!

初めての「VR」導入セミナー

※当社 VR ソフトのご利用契約頂いたお客様に限る

1. VR (VIVE) の基本
VR とは、VR 特徴とは、必要な機材と種類
2. VR コンテンツとは
SteamVR、『建設安全VR』のインストール

3. 『建設安全VR』の設置・運用のてびき
設置～運用～撤収までのレクチャー
4. AR・MRの最新技術について
拡張現実を利用した現地 KY 構想など

開催条件・価格

最小遂行人数 2名様
1名様あたり ¥20,000

※現金・ご請求書とも可

約2時間ほどでVRの基礎から必要な機材、運用についてのノウハウを説明いたします
※企業様での出張セミナーも可能です(移動費・宿泊費用が別途かかります)(土・日曜日を除く)